



東京部会(第61回)

日時: 2013年10月29日(火) 19:00-21:15

場所: 日本大学経済学部本館中2階会議室

参加者: 篠原(同志社大)、中川(日大)、小巻(日大)、新井(小石川中等教育)、三枝(目黒区立東山中)、杉田(千葉西高)、高橋(桜修館中等教育)、宮崎(国際高)、久保田(千葉浦安南高)、埴(多摩高)、中沖(清水書院)、鈴木(日本経済教育センター)、石山(東証)、加藤(日大) [順不同]

【内容要旨】

1. 新井先生より配布された「東京部会レポート」にもとづき、下記のような報告があった。

- (1) 次年度夏休み経済教室:名古屋(中・高), 大阪(中・高), 東京高校, 東京中学の実施日程の調整中。
- (2) 年次大会(2014年3月22日(土)) のテーマ検討:篠原先生を中心に法教育と経済教育の対話③を実施する方向で検討。
- (3) 名古屋名瀬地区の研究会からの講演依頼:名証見学の後, 新井先生のご講演
 今後のWS: ①福井ワークショップ13年12月17日(対象は福井県内の高校教員, 小巻先生「国民所得概念」, 野間先生「教科書で読み解くアベノミクス」)
 ②初声分校で13年12月に実施予定(金子先生の実践報告, 加藤のコメント)
 ③埼玉川口で14年2月に計画中
- (4) 入試問題検討の総括:新井先生より, 10月に日本社会科教育学会において発表したとの報告。
 レジユメ配付(新井・高橋・杉田・山崎の共著)

2. 実践報告

- (1) 三枝先生より, 「現代社会の見方・考え方(対立と合意, 効率と公正)の実践事例」という資料が配布された。小学生や社会人といったグループに対する公営サッカー場の貸し出し方法を通して効率性を考えさせるというものであった。今後, 三枝先生を中心に教材化の検討会を作る方向で合意。
- (2) 宮尾先生(当日ご欠席)より実践報告の資料が配布された。ひとつは支払意思額を訪ねて需要曲線を導出する実験の概要と結果, いまひとつは, 選択行動が直前の情報に影響を受けることを検証する実験の概要と結果。

3. 今後の方向性

今後, 本団体の原点に戻り, 中高の教材作成に貢献しうる議論の機会を増やすことで合意。

次回開催予定:11月19日(火)19:00~21:00。場所は日本大学経済学部本館中2階会議室。議題は、年次大会の内容検討, 実践報告, 教材作成に向けたディスカッションなど
 今後の開催予定:12月17日(火), 場所は同上。